

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	74	学 校 名	静岡県立浜松湖南高等学校	校 長 名	佐藤敦
------	----	-------	--------------	-------	-----

1 スクール・ミッション

静岡県西部地区の普通科・英語科を併設した、多文化共生を推進する拠点となる高校として、社会に広く目を向け、異文化理解を推進すると同時に、自己探究と個性の確立を目指す教育を通じて、真理を愛し、国際感覚を備えた社会の有為な形成者として、たくましく未来を切り拓いていく人間の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
～本校では卒業までにこのような人に育てます～ ①主体的に課題と向き合い、未来を自ら切り拓く人 ②自分を大切にするとともに、他者への敬意を持ち、対話を通して積極的に協働できる人 ③自国の文化に誇りを持つとともに、グローバルな視野を持ち、多様な文化や価値観を尊重できる人	～本校ではこのような教育を実施します～ ①豊かな人間性・社会性を育む教育活動と進路希望実現に応える学力を形成する授業の実施 ②主体性・協働性・問題解決能力の向上を目指した探究学習や地域連携活動の実施 ③異文化・多文化理解を深める国際交流事業や国際理解教育の実施 【英語科】 ④国際化社会で通用する英語力の育成を目標とした様々な言語活動の実施	～本校ではこのような生徒を求めています～ ①基本的生活習慣や学習意欲を持ち、主体的に高校生活を送ろうとする生徒 ②他者を思いやる心を持ち、協働して問題を解決しようとする生徒 ③目標を持ち、その達成のために粘り強く努力できる生徒 【英語科】 ④英語学習や異文化理解への高い関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒

(2) 生徒に育成を目指す8つの力

主体性：自らをデザインする力
 向上心：夢を描く力
 粘り強さ：あきらめずにやり抜く力
 積極性：挑戦する力
 自己管理力：自分を律する力
 表現力：自分の言葉で伝えようとする力
 柔軟性：多様な考えを受け入れる力
 調整力：環境を味方にする力

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 知性の涵養に資する授業づくりに取り組み、能動的学習者を育成する。
- イ 進路意識の高揚及び進路目標の達成を目指し、きめ細やかな進路指導を推進する。
- ウ 自律の精神により、基本的生活習慣を確立させ、豊かな人間性と社会性を育む。
- エ 心豊かな人生の実現に資する文化的環境を整備する。
- オ 心身ともに健康で安全・安心に過ごすことができる教育環境を整備し、生徒の安全意識高揚を図る。
- カ 高い資質・能力を備えた教職員集団であるべく、常に研究・修養に励むとともに、ワークライフバランスの向上に努める。
- キ 積極的な広報発信を通じて、地域に開かれた学校づくりに努める。
- ク 英語教育、国際交流事業を全校で推進し、生徒のグローバルな視野を育成し、異文化、多文化共生への理解を促す。
- ケ 関連事業参画や地域関係機関連携による探究学習を推進し、生徒の問題解決能力育成に努める。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	知性の涵養に資する授業づくりに取り組み、能動的学習者を育成する。	・教材研究、教授法研修充実 ・ICTを活用した授業実践 ・生徒授業アンケート活用 ・授業公開週間充実 ・他校授業研修参加促進 ・自己調整学習についての職員自己研鑽/情報提供	・「授業や家庭学習で学力が向上した」生徒 90% ・「授業の中で、自分の考えをまとめたり、周囲と共有したりする機会が多い」生徒 90% ・「自ら学習方法を工夫している」生徒 70% ・「授業で ICT が活用されている」生徒 85%	各 教 科 教 務 課 (教務 G・ 情報 G・ 研修 G)
イ	進路意識の高揚及び進路目標の達成を目指し、きめ細やかな進路指導を推進する。	・進路講話、OB 講話、大学出張講義等の実施 ・夢ナビ動画視聴、オープンキャンパス、各種セミナー、体験事業への参加促進 ・課外授業、個別指導等進学支援体制の充実 ・保護者対象進路講演会実施 ・聖隷クリストファー大学との連携事業活用 ・「進路に関する面談のワークショップ」実施 ・海外進学案内実施 ・マレーシアの大学の指定校」の運用整備	・1年生で志望分野研究に取り組んだ生徒 90% ・2年生で第一志望先決定に向けた研究ができた生徒 90%以上 ・3年生で1学期中に進路実現に向けた研究発表ができた生徒 95%以上 ・進路情報の提供に満足している保護者 90% ・「聖隷クリストファー大学キャリア支援講座」及び「施設見学会」の延べ参加者延べ 120 名以上 ・教員対象「進路に関する面談ワークショップ」の年 1 回以上の実施 ・「マレーシア大学の大学指定校」の説明会、情報提供を年 5 回以上実施	進 路 課
ウ	自律の精神により、基本的生活習慣を確立させ、豊かな人間性と社会性を育む。	・モラルとマナー向上徹底 ・生徒支持的指導への目線合わせ ・個別支援や学年指導実施 ・学校行事、生徒会、部活動への主体的な参加促進 ・主体的な委員会活動促進	・「積極的に挨拶ができている」生徒 95% ・「校則等を守り、高校生らしい服装・行動をしている」生徒 95% ・「学校行事や部活動等に生徒が主体的に取り組んでいる」生徒 95% ・「湖南高校を大切に思う」生徒 95%	生 徒 課
エ	心豊かな人生の実現に資する文化的環境を整備する。	・朝読書の充実 ・ストーリーテリング、文化講演会の実施 ・読書週間実施 ・図書館開館 年 200 日 ・図書館だよりの発行 ・文化部作品展示の充実 ・LHR 生徒イベントの実施	・朝読書への取り組み意欲に対する肯定回答 90% ・1・2年生の年間読書数 平均 10 冊 ・図書館利用者増	図書探究交流課 (図書 G) 生 徒 課

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
オ	心身ともに健康で安全・安心に過ごすことができる教育環境を整備し、生徒の安全意識高揚を図る。	・悩みを抱えた生徒への組織的な支援充実 ・スクールカウンセラーの活用 ・健康観察による情報共有充実 ・定期的な校内の点検 ・校内美化の徹底 ・定期健診所見あり生徒への保健指導 ・生徒の心理的安全性確保	・「悩みや不安がある時、それを打ちあける人や機会・場所がある」生徒 90% ・健康観察実施 100% ・清掃点検全項目 A 評価分担箇所 85% ・再受診率 60%以上	保健課 生徒課
		・危機管理マニュアル研修実施 ・防災教育の充実 ・防災倉庫内の整備 ・施設・設備の不具合への迅速対応	・「訓練や研修会等によって安全・安心に対する意識が高められた」生徒 90% ・施設、設備の事故 0 件	総務課 事務部
カ	高い資質・能力を備えた教職員集団であるべく、常に研究・修養に励むとともにワークライフバランスの向上に努める。	・「進路指導」「ICT 活用」「防災」等をテーマとした研修の実施 ・ICT を利用した業務改善 ・週 1 回の定時退庁実施 ・完全退庁時刻 20 時の遵守 ・管理職・学年・分掌課等による業務改善の実施 ・部活動ガイドライン遵守 ・事務部職員の研修機会の積極的な活用	・ICT を利用し業務が改善された職員 70% ・最終施錠時刻が 20 時を超えた日数前年比減 ・「週 1 回は定時に退勤できた」教職員 70% ・時間外在校時間月平均 45 時間以上の教職員数前年度比減 ・年間 100 日以上休養した部活動 100% ・「研修機会を積極的に活用した」事務部職員 90%	教務課 (研修 G・情報 G) 進路課 総務課 管理職 事務部
キ	積極的な広報発信を通じて地域に開かれた学校づくりに努める。	・中学生の効果的な広報の研究、実施 ・ホームページの随時更新 ・SNS 等による情報発信 ・湖南通信の発行 ・地域事業への参画	・「教育方針・教育活動をわかりやすく伝えている」保護者 90% ・「教育活動に魅力を感じた」中学生一日体験入学・オープンスクール参加者 90% ・「湖南高校で広がる将来の可能性について理解した」中学生一日体験入学・オープンスクール参加者 80%	教務課 (教務 G・情報 G) 総務課 生徒課
ク	英語教育、国際交流事業を全校で推進し、生徒のグローバルな視野育成、異文化、多文化共生への理解を促す。	・外部団体等が主催する国際交流/異文化理解事業への生徒参加促進 ・学校主催の国際交流、異文化理解教育の充実	・「国際交流事業でグローバルな視野を持つことができた」生徒 95% ・英語学科の生徒が卒業時に英語検定 2 級以上を取得する割合 90%	学年部 図書探究交流課 (交流 G) 英語学科
ケ	関連事業参画や地域関係機関連携により探究学習を推進し、生徒の問題解決能力育成に努める。	・「総合的な探究の時間」の充実 ・静岡大学情報学部との高大連携事業の推進 ・探究学習発表会への参加 ・海外フィールドスタディの実施 ・探究研修会への参加、他校取組の視察	・「『総合的な探究の時間』の学習や活動が自らの進路選択に影響している」生徒 75%	図書探究交流課 (探究 G)